

◎昭和43年度第2回理事会(43.7.26)出席者:石原会長,尾之内,国分,松見,仁杉各副会長,羽田専務理事,安藤,井田,伊藤,市原,岩崎,小川,大地,川崎(敏),倉田,篠原,高橋(国),高橋(浩),比留間,土方,渡辺の各理事,大橋監事。議事録署名理事の決定:石原会長,羽田専務理事,高橋(浩)理事。A.報告事項:1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会その他報告。4)担当理事会報告。B.協議事項:1)第13回国際水理学会会議資金委員会規程について,石原会長より説明後原案どおり承認。2)文部省科学研究費補助金について。3)アルミナセメント使用上の研究に関する委託について。4)その他。5)委員の委嘱について

- ① 大学土木教育委員会報告書作成小委員会
委員長 林 泰造 中央大学
委員 高橋 裕 東京大学
堀井健一郎 早稲田大学
赤井 浩一 京都大学
伊能 忠敏 国鉄
川本 正知 建設省
河野 彰 (株)大林組
橋本 清 神奈川県立向の岡工業高等学校
越 正毅 東京大学
赤木 俊允 東洋大学
服部昌太郎 中央大学
菅原 玄 早稲田大学
- ② 高校土木教育研究委員会構造実験指導書編集小委員会
委員 橋本 経吉 愛知県立一宮工業高校
太田 竜三 愛知県立一宮工業高校
秋山 伸二 名古屋市立工業高校
間宮 勲 岐阜県立岐阜西工業高校
岡田竹二郎 静岡県立島田工業高校
中城 忠治 京都市立伏見工業高校
森野 安信 東京都立田無工業高校

- ③ 文献調査委員会
委員 三和 久勝 日本道路公団
- ④ トンネル工学委員会施工小委員会
委員 堀江 実信 農林省農地局
委員 石原 寿 四国電力(株)
- ⑤ 岩盤力学委員会
委員 氏井 長門 鹿島建設(株)
坪井 直道
- ⑥ 視聴覚教育委員会
委員 福住 隆二(株)大林組
真田 聡 鹿島建設(株)
- ⑦ PC工法(BBRV工法)小委員会
委員 塚 毅 日本大学
吉田 弥智 名古屋工業大学
田辺 忠顕 東京大学
下川 浩資 建設省
- ⑧ コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究委員会
委員 津野 和男 首都高速道路公団

津野 茂次 (株)オリエンタルコンサルタンツ

鶴田 博昭 国鉄
村田 二郎 東京都立大学
田辺 忠顕 東京大学

⑨ プレストレスト コンクリート設計施工指針改訂小委員会
委員長 国分 正胤 東京大学
副委員長 河野 通之 日本交通技術(株)
設計主査 猪股 俊司 (株)日本構造橋梁研究所
施工主査 樋口 芳朗 国鉄
総幹事 尾坂 芳夫 国鉄
委員 池田 哲夫 日本道路公団
西田 清治 (株)オリエンタル
コンクリート

岡田 清 京都大学
岡村 甫 東京大学
神山 一 早稲田大学
後藤 幸正 東北大学
小林 正凡 法政大学
只野 直典 大成建設(株)
津野 和男 首都高速道路公団
西沢 紹昭 中央大学
野口 功 日本鉄道建設公団
藤井 学 神戸大学
藤田 嘉夫 北海道大学
村田 二郎 東京都立大学
百島 裕信 鹿島建設(株)
山本 強 日本鉄道建設公団
吉田 弥智 名古屋工業大学
柳田 力 建設省

⑩ 耐震工学委員会
委員 田村 浩一 国鉄

◎会務担当理事会(43.7.26)出席者:高橋(浩),高橋(国),岩崎,市原,川崎(敏),倉田の各委員。議事:前回理事会で宿題となっていた大学土木教育委員会の提案である「土木界の将来の発展のために土木学会は何をなすべきか」に関し総務・企画担当理事が出席のうえ協議した。

◎ 各種委員会

(1) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会 第4章打合せ(43.6.6)出席者:関係者4名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針改訂草案断面力の算定について。

(2) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会 第5章打合せ(43.6.6)出席者:関係者4名。議事:第5章断面の検討について原案作成担当割り。

(3) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会 第6章打合せ(43.6.11)出席者:関係者4名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針改訂草案について(原案作成担当割りについて)。

(4) トンネル工学委員会 設計小委員会幹事会(43.6.11)出席者:伊吹山委員長,足立副委員長,ほか2名。議事:

トンネル標準示方書改訂案の作成。

(5) 文献調査委員会(43.6.11)出席者:松本(前),新谷(新)委員長,ほか18名。議事:1)会誌53巻8号登載抄録について。2)解説記事について。3)分類項目に「原子力」部門新設について。4)紹介記事について。5)担当雑誌について。6)その他。

(6) 会誌編集委員会書評小委員会(43.6.12)出席者:伊藤委員長,ほか8名。議事:1)新任委員紹介。2)小委員会内規説明。3)書評諸件協議。

(7) 日本土木史編集委員会(43.6.12)出席者:青木委員長,佐藤副委員長,ほか22名。議事:1)原稿執筆状況等各編作業進行状況の報告。2)今後の作業予定について。3)外地鉄道について。4)原稿料支払いの時期について。

(8) プレストレスト コンクリート設計施工指針改訂小委員会 設計分科会 第9章打合せ(43.6.12)出席者:関係者5名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針改訂草案の検討。

(9) フライアッシュ小委員会幹事会(43.6.12)出席者:関係者4名。議事:1)追加試験の予算について。2)材令2年試験結果の報告書取りまとめ。

(10) プレストレスト コンクリート設計施工指針改訂小委員会 材料施工分科会(43.6.13)出席者:国分委員長,河野副委員長,樋口主査,ほか30名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針改訂に対する意見について。

(11) 橋梁構造委員会 第4回 英文耐震規定改訂小委員会(43.6.13)出席者:友永委員長,ほか14名。議事:橋梁部門原案のとりまとめ。

(12) 視聴覚教育委員会 教育プログラム研究小委員会(43.6.13)出席者:関係者4名。議事:小委員会活動の基本方針等について話し合った。

(13) 第7回大学土木教育委員会(43.6.14)出席者:林委員長,ほか20名。議事:1)第2回大学土木教育に関するシンポジウムについて。2)委員長交代の件。3)出版物刊行の件。4)内規について。5)その他(土木技術者および土木学会のあり方について)。

(14) 耐震工学委員会有志打合せ(43.6.14)出席者:那須委員長,ほか4名。議事:今後の耐震工学委員会運営につき打合せを行なった。

(15) 論文編集委員会部会長会(43.6.19)出席者:林委員長,西村(前)委員長,山口副委員長,嶋(前)副委員長,前田,神山部会長,ほか5名。議事:1)各

部会報告。2) 論文集第 156, 第 157 号掲載論文の決定。3) 43 年度副委員長に山口柏樹氏(第 3 部会長)を選出。4) 43 年度の編集方針についていろいろ話しあひ次回委員会で協議することにした。5) その他。

(16) 視聴覚教育委員会映画・スライド調査小委員会(43.6.20)出席者:関係者 4 名。議事:小委員会活動の基本方針等について話し合った。

(17) 視聴覚教育委員会コンクール企画小委員会(43.6.20)出席者:関係者 3 名。議事:小委員会活動の基本方針等について話し合った。

(18) 橋梁構造委員会英文耐震規定改訂小委員会打合せ(43.6.20)出席者:関係者 5 名。議事:橋梁部門耐震設計規定原案の審議。

(19) 岩盤力学委員会第 1 分科会(第 2 回)(43.6.21)出席者:関係者 24 名。議事:1) 講演「裾花ダムの地質処理について」長野県企業局 田代末信氏。2) ワーキンググループ活動報告。

(20) フライアッシュ小委員会(43.6.24)出席者:関係者 3 名。議事:1) フライアッシュを混和したコンクリートの中硬化および鉄筋の発錆に関する試験報告書の取りまとめ。2) 国際セメント化学シンポジウムについて。

(21) 第 29 回学術講演連結委員会(43.6.25)出席者:久保委員長, ほか 11 名。議事:1) 出版企画委員会委員の推せん。2) 委員会の運営について。3) 新委員長との互選。4) その他。

(22) 空港舗装研究委員会コンクリート材料に関する打合せ(43.6.25)出席者:関係者 8 名。議事:コンクリート材料および配合に関する実験(材令 91 日)結果の取りまとめ。

(23) 岩盤力学委員会第 3 分科会(第 2 回)(43.6.26)出席者:関係者 6 名。議事:岩盤の現地試験に関する調査資料のとりまとめ。

(24) トンネル工学委員会設計小委員会(43.6.27)出席者:伊吹山委員長, 足立副委員長, ほか 11 名。議事:トンネル標準示方書改正案の逐条審議。

(25) 第 1 回水理公式集改訂小委員会(43.6.28)出席者:吉川委員長, 岩垣副委員長, ほか 11 名。議事:1) 改訂小委員会開催までの経過報告。2) 改訂版の内容についての基本方針。3) 委員会の構成。4) 原稿料等の問題。5) その他。

(26) トンネル工学委員会調査小委員会(43.6.28)出席者:関係者 9 名。議事:トンネル標準示方書改正案の逐条審議。

(27) 鋼鉄道橋示方書委員会幹事打合せ(43.6.28)出席者:関係者 7 名。議事:腹板の座屈についての検討。

(28) 会誌編集委員会(新旧合同委員会)(43.6.28)出席者:増岡(前), 森委員長, ほか 29 名。議事:1) 新旧委員長あいさい。2) 委員, 幹事紹介。3) 会務説明および討議。4) 懇親会。

(29) 原子力土木技術委員会・見学会および第 3 回委員会(43.6.30~7.1)出席者および参加者:左合委員長, ほか 14 名。議事:1) 文献項目(原子力)新設の件。2) 委員の追加。3) 次回開催予定について。見学場所:① 日本原子力発電 K K 敦賀発電所。② 関西電力 K K 美浜発電所。

(30) 構造用軽量骨材に関する研究小委員会(43.7.1)出席者:国分委員長, ほか 9 名。議事:1) 構造用軽量骨材に関する実験結果の取りまとめ。2) 構造用軽量骨材に関するシンポジウム開催について。

(31) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会打合せ(43.7.2)出席者:関係者 4 名。議事:プレストレストコンクリート設計施工指針改訂草案第 4 章について。

(32) 岩盤力学委員会第 1 分科会 第 2 回グラウト打合せ(43.7.5)出席者:関係者 8 名。議事:グラウティングに関する設計, 施工上の基準(案)の作成および検討。

(33) 大学土木教育委員会打合せ(43.7.5)出席者:林委員長, 高橋幹事長(第 II 期), 奥村委員長, 山口幹事長(第 III 期)。議事:第 II 期および第 III 期委員会の引継事項の確認と打合せ。

(34) 大学土木教育委員会報告書作成小委員会(第 1 回)(43.7.5)出席者:林委員長, ほか 7 名。議事:1) 小委員会の名称, 委員構成について。2) 学会誌特集号(大学土木教育に関する)原稿の件。3) 出版物編集作業分担の件。

(35) コンクリート委員会(43.7.5)出席者:国分委員長, ほか 36 名。議事:1) 委員長挨拶。2) 終局強度設計土木建築連絡小委員会経過報告。3) 終局強度設計小委員会設置について。4) 鉄筋コンクリート標準示方書の一部修正の作業方針について。

(36) P C 工法小委員会レオンハルト & レオバ工法(43.7.8)出席者:国分委員長, 河野主査, ほか 16 名。議事:1) 前回(第 13 回)議事録の確認。2) レオバ工法設計施工指針(案)第 3 次案の逐条審議。3) 「レオバ工法設計施工の参考」

資料掲載について。

(37) 出版企画委員会測定法編集小委員会幹事会(43.7.9)出席者:高田委員長, ほか 6 名。議事:1) 原稿査読の件。2) 目次変更の件。3) さく引作成の件。

(38) 橋梁構造委員会第 5 回英文耐震規定改訂小委員会(43.7.9)出席者:友永委員長, ほか 13 名。議事:橋梁部門原案の審議; ① 耐震設計規定, ② 耐震構造設計例。

(39) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(43.7.11)出席者:猪股主査, ほか 10 名。議事:1) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂に関する意見集について。2) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂草案(設計編)の検討。3) その他。

(40) 論文集編集委員会第 2 部会(43.7.4)出席者:林委員長, ほか 4 名。議事:1) 前回部会長報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 論文集のあり方について。

(41) 論文集編集委員会第 4 部会(43.7.11)出席者:1) 神山部会長, ほか 4 名。議事:1) 前回部会長報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 論文集のあり方について。

(42) 論文集編集委員会第 1 部会(43.7.12)出席者:前田部会長, ほか 7 名。議事:1) 前回部会長報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 論文集のあり方について。

(43) 会誌編集委員会(43.7.12)出席者:森委員長, ほか 9 名。議事:1) 原稿投稿, 審査状況報告。2) 会誌 53 巻 10 号編集の件。3) マンスリー・トピックス担当者決定の件。4) 講座, 特集の件。5) 懸賞論文の件。

(44) 高校土木教育研究委員会構造実験指導書編集分科会(第 1 回)(43.7.12)出席者:関係者 8 名。議事:1) 執筆対象。2) 執筆内容。3) 体裁。4) 執筆分担。5) その他。

(45) トンネル土工小委員会(43.7.12)出席者:村山委員長, 高橋副委員長, ほか 10 名。議事:1) トンネル標準示方書改訂と土工小委員会の研究課題。2) 「トンネルの土工に関する測定実績調査」の解答状況について。3) 建設省「宇津トンネルの土工測定」例 菅原氏説明。

(46) 第 120 回耐震工学委員会(43.7.12)出席者:那須委員長, 岡本副委員長, ほか 9 名。議事:1) I.A.E.E. について。2) 英文耐震規定(1968 年版)について。3) 1968 年チリ沖地震について。4) 出版

委員会委員推せんについて。5) 当委員会の運営方法について。

(47) トンネル 示方書改訂調整打合せ (43.7.12) 出席者: 関係者 11 名。議事: トンネル 標準示方書改訂にともなう各編 (各小委員会) の調整。

(48) 第 4 回 原子力土木技術委員会 (43.7.15) 出席者: 左合委員長, ほか 11 名。議事: 1) 文献項目「原子力」新設の件。2) 講演「原子力発電所立地の展望」電源開発 KK 藤原委員。

(49) コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究委員会 (43.7.16) 出席者: 関係者 15 名。議事: コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準 (案) の検討。

(50) 出版企画委員会 (43.7.16) 出席者: 春日屋, 堀正副委員長, 石橋出版担当理事, 羽田専務理事, ほか 3 名。議事: 1) 昭和 42 年度出版物状況についての報告。2) その他出版物についての状況報告。3) 出版企画委員会の今後の運営について。

(51) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会材料施工分科会 (43.7.17) 出席者: 園分委員長, 河野副委員長, 猪股主査, 樋口材料施工主査, ほか 13 名。議事: 1) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂に関する意見集について。2) プレストレストコンクリート標準示方書 (材料施工分科会編) 目次案について。

(52) トンネル工学委員会設計小委員会幹事会 (43.7.19) 出席者: 伊吹山委員長, 足立副委員長, ほか 2 名。議事: トンネル標準示方書改正案作成。

(53) 鋼鉄道橋示方書委員会 特別幹事会 (43.7.19) 出席者: 沼田委員長, ほか 14 名。議事: 座屈に関する諸条項についての検討。

(54) トンネル工学委員会運営委員会 (43.7.19) 出席者: 藤井本委員会委員長, 住友委員長, 坂本副委員長, 加納幹事長, ほか 9 名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 国際トンネルシンポジウムについて。3) 43,44 年度トンネル工学委員会賛助金について。4) 沈埋トンネル小委員会設置について。

(55) 土木年鑑編集委員会幹事会 (43.7.19) 出席者: 八十島委員長, 片山副委員長, 春日屋次期委員長, ほか 6 名。議事: 1) 1969 年版編集経過報告。2) 1967, 68 年版販売経過報告。3) 1969 年版巻頭論文の件。4) 次期委員会について。5) その他。

◎その他

(1) 第 4 回トンネル工学に関するシンポジウム (43.6.17, 18)

場 所: 私学会館ホール
参加者: 502 名
講演数: 15 講演
懇親会: 会場 日本閣 (6 月 18 日 (火)) 18.00~21.00
参加者 28 名

(2) 岩の力学研究連合委員会 幹事会 (43.6.21)

場 所: 土木図書館 5 号室
出席者: 吉田委員, ほか 9 名
議 事: 1) 経過報告
2) I.S.R.M. (国際岩の力学会) について; ①シンポジウム開催の件, ② Commission 設置に伴う代表委員推せんの件, ③会員募集の件, ④ナショナルグループ承認の件
3) その他

(3) 応答を考慮した長大橋の耐震設計に関する講習会 (43.7.16)

場 所: 大和証券ホール
参加者: 320 名
講演数: 9 題

支部だより

◎北海道支部

(1) 郷土の土木 100 年史執筆者 打合せ (43.7.16, 雪印パーラー) 出席者: 大橋支部長, 前口幹事長, ほか 12 名。議事: 1) 執筆者の選出。2) 執筆方法の具体化。3) 部門別担当内容。

(2) 第 3 回幹事会 (43.7.17, 支部会議室) 出席者: 前口幹事長, ほか 11 名。議事: 1) 研究発表会論文原稿の募集分担について。2) 研究発表会・講習会の日程

について。3) 支部事業今後の具体化について。4) 支部備品図書 of 整理について。5) 支部経過について報告。

(3) 第 1 回見学会 (43.7.12)

参加人員: 56 名
見学行程: 函館駅横出発 8.50~十勝沖地震災害現場函館大学~福島町と青函トンネル~青函トンネル調査工事

(4) 第 1 回講演会 (43.7.19, 婦人会館)

聴講者: 110 名
講演:
1) 海外における冬期工事実施状況 道川 信
2) 寒地施工の問題点 北大 山岡勲

(5) 第 2 回見学会 (43.8.9)

共催・土質工学会支部
参加人員: 62 名
見学行程: 札幌バイパス計画, 小樽臨港線立体交差工事, 同 4 号埠頭, 同港内巡覧, 国鉄電化電車試乗, 石狩河口橋杭打工事, 新石狩大橋

記事: この日朝来の曇天, 小雨模様のところ次第に晴れ上り小樽港内巡覧のときは盛夏の好天となった。観光バスはほとんど満員の参加者 60 有余名, 多彩多岐にわたる終日の見学会に見聞を広め, かつ関係者の厚意や接待を満喫, 近來にないのしい 1 日であった。

(6) 第 2 回講演会 (43.8.10, 建設会館)

聴講者: 60 名
講演:
1) 交通事故の現状と対策 道警 佐々木光雄
2) 道路の設計と交通事故 北大教授 板倉忠三

(7) 第 3 回講演会 (43.8.13, 旭川市拓銀ビル)

聴講者: 100 名
1) 講演賞助・旭川建設業協会
2) 講演概要刊行 500 部
3) 演題と講師
1) 寒地施工の問題点 北大工学部教授 山岡 勲
2) 海外における冬期工事実施状況 一 8 ミリ映画上映一 道土木部管理課主査 道川 信

土木学会誌編集委員

委員長	森 旭	茂 種	阿 部	博 俊	伊 藤	美 俊	石 井	弓 夫	井 上	衛 幸	内 田	藤 聡	吉 吉	片 山	恒 山	榎 雄
委員	加 藤	一 正	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
委員兼幹事	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝
	加 藤	藤 島	川 崎	一 勇	菊 中	川 島	坂 本	本 谷	沢 健	田 守	住 友	藤 友	藤 友	高 本	尾 孝	二 伝